



3 国有林野の林産物の供給

3 国有林野の林産物の供給

(1) 計画的な収穫の実施

国有林野事業では、木材等の林産物について、公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を進めることを基本として、自然環境の保全等に十分な配慮を行いながら、持続的・計画的な供給に努めています。平成18年度には599万 m^3 の木材を収穫しました。

また、多様な森林を有しているという国有林野の特性を活かし、民有林からの供給が期待しにくい大径長尺材や、木曽ヒノキ、天然秋田杉等の銘木の計画的な供給に努めています。

表 - 16 収穫の実施状況 (単位：万 m^3)

区分	平成18年度	(参考)平成17年度
主伐 ^{注)}	181	215
間伐	418	360
合計	599	574

注：計の不一致は、四捨五入による。

表 - 17 民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材(丸太)供給実績

樹種名	平成18年度	(参考)平成17年度
ヒバ	2.3	2.9
木曽ヒノキ	0.6	0.5
天然秋田杉	0.2	0.2

事例 地域の社寺仏閣等伝統建造物建築への貢献

下北森林管理署は、日本三大霊場の一つである恐^{おそれざん}山の入口になるむつ市大畑町に所在する優婆寺^{うぱじ}の本堂と位牌堂の老朽化による建て替えにあたり、青森ヒバの丸太75本、約77立方メートルを平成17年度に供給しました。

優婆寺では、平成18年度から本堂と位牌堂の造営に着手し、平成19年夏の完成を目指しています。

(東北森林管理局 下北森林管理署)



場所：青森県むつ市大畑町

説明：写真は、国有林から供給された青森ヒバ材を使って造営している完成間近の本堂の外観(左上)と本堂の内部(右下)の様子です。

(2) 林産物等の販売

平成18年度の木材販売量は、立木販売^{注1)}については79万m³減少して130万m³に、素材(丸太)販売^{注2)}については25万m³増加して147万m³となりました。

販売に当たっては、集成材^{注3)}・合板^{注3)}工場や大手住宅メーカーへ納入している製材工場等、これまで主として外材を利用してきた大口の需要者に対して、原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進することにより、国産材の需要拡大にも努めています。

このほか、インターネット等を活用し、迅速かつ広範囲に公売情報を提供したり、民間市場への素材販売の委託を行うなど樹材種の特質に応じた有利な販売や販路の拡大に努めるとともに、民間では供給が難しい文化財の修復のための資材販売を行っています。

このように、林産物等の販売に努力した結果、平成18年度の林産物等収入は237億円になりました。

表 - 18 林産物等販売の状況

(単位：万m³、億円)

区 分	平成18年度		平成17年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
林産物等収入		237		215
立木販売	130	26	209	36
素材販売	147	191	122	165
その他		2		2
分収林等	120	18	62	12
(うち民収分)	(72)		(42)	

- 注：1 数量は、立木販売、分収林等については立木材積で、素材販売については、素材(丸太)材積で示している。
 2 その他は雑収である。
 3 分収林等は、分収造林、分収育林、官行造林であり、金額はそれぞれ官収分となっている。
 4 計の不一致は、四捨五入による。

表 - 19 国有林材の販売単価の動向

(単位：百円/m³)

年 度	平成	12	13	14	15	16	17	18
立木販売	31	22	19	19	18	14	15	
素材販売	337	358	264	225	192	135	130	

注：販売単価は、立木販売については立木材積単位、素材販売については素材(丸太)材積単位の年間平均単価(実績)で示している。

事例 離島からの人工林間伐材の島外出荷

近年、離島の人工林資源は充実してきており、こうした状況において、島内需要には限りがあること、また、船による輸送コストがかかり増しになることなどから、人工林材の島外出荷が課題になっていました。

このため、屋久島森林管理署では、島内のスギ人工林間伐材を島外需要に結びつけて山元に収益を還元するため、量をまとめて熊本県水俣市の合板工場と販売契約を結び、初めて島外に出荷しました。

(九州森林管理局 屋久島森林管理署)



事例 地元合板工場への間伐材の安定供給

合板工場では、合板の需要の増加に対応するため、国産材の使用量を増やしており、加工技術の向上とあいまって、これまで利用が進まなかった間伐材やB材（曲がりなどの欠点がある木材）の利用も可能になり、木材資源の有効利用が図られてきています。

このため、三陸中部森林管理署では、間伐の積極的な実施の結果生産されるスギ、カラマツ及びアカマツの間伐材を地元合板工場に原材料として安定的に供給しています。

(東北森林管理局 三陸中部森林管理署)



場所：鹿児島県熊毛郡屋久町 安房港
 説明：写真は、「屋久島のスギ人工林材島外出荷記念行事」（左上）とスギ人工林間伐材の船積み（右下）の様子です。

場所：岩手県釜石市 橋野第一国有林（左上） 大船渡市（右下）
 説明：写真は、山元で搬出を待つ間伐材（左上）と合板工場のストックヤード（右下）の様子です。